

ベルガモ大学訪問 (2014.9.1~9.5)

今回の訪問は、Angelo Compare 教授（臨床心理学）との共同研究を始めるためである。Compare 教授は、マインドフルネス・リラクゼーション法を用いて高血圧などを治療するユニークな研究を行っており、文科省・平成 26 年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「Active aging を支援するバイオメディカル工学の研究拠点」における海外共同研究者である。

ベルガモ大学に NIRS Laboratory を新設し、以下の共同研究を行うことで合意した。

- 1) マインドフルネスの本態性高血圧症に対する効果とそのメカニズムに関する研究
- 2) 高齢者の認知機能に対する化粧療法の効果（資生堂イタリアとの共同研究）
- 3) NIRS を中心とした脳ストレス評価システムの開発
- 4) イタリア-日本ヘルスケアネットワークの研究開発

1) Compare 教授と
(提供していただいた客員教授室で)



2) Compare 教授の学生たちと



3) ベルガモ大学の構内：中世の街“チッタアルタ”の古い建物を校舎に利用。



ベルガモ大学 (University of Bergamo) の概要

ベルガモ大学は “中世の町・チッタアルタ” の中に設立されたユニークな州立大学である (1961年開校)。約16,000人の学部生と約300人の博士号学生、及び656人のスタッフ(教授&研究者331人、学術的スタッフ95人、管理上および技術スタッフ230任)を擁する。

次の6学部がある (総学生数15,415人)。

- 1) Engineering (学生数2,240人)
- 2) Foreign Languages, Literatures and Communication Studies (3,519人)
- 3) Human and Social Sciences (3,528人)
- 4) Law (14,93人)
- 5) Letters and Philosophy (1,040人)
- 6) Management, Economics and Quantitative Methods (3,595)

学位研究プログラム :

- 1) 学士研究 : 14プログラム
- 2) 学士+修士研究 (5年) : 1プログラム
- 3) 修士研究プログラム : 15プログラム
- 4) 博士号研究プログラム : 15プログラム

ベルガモの概要



ベルガモ(Bergamo)は、[イタリア共和国ロンバルディア州ベルガモ県](#)の[コムーネ](#)の一つで、ベルガモ県の[県都](#)。人口121,316人(2011年)。
ミラノから東北に約50Km、中世の町並みがそっくりと小高い丘の上の町に残っている街、ベルガモはミラノからも非常に近く、簡単に足をミラノより伸ばす事ができる。
ベルガモは旧市街のチッタ・アルタと呼ばれるベルガモ・アルタと、[FS](#)の駅がある新市街のチッタ・パッサと呼ばれるベルガモ・パッサとに分けることができる。
[ドビュッシ](#)の「[ベルガマスク組曲](#)」はここが舞台。